

◎校区に残る  
田の神様



宮崎県  
三股町の  
田の神像

# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

秋の収穫時期に南九州を旅すると、黄金色の稲穂の向こう側に田の神様が微笑みながら姿をあらわします。田の神様は鹿児島県宮崎県南部における民間信仰です。左の写真のような石像をかたどっていますが、種子島ではどうか上西校区を調べてみると…

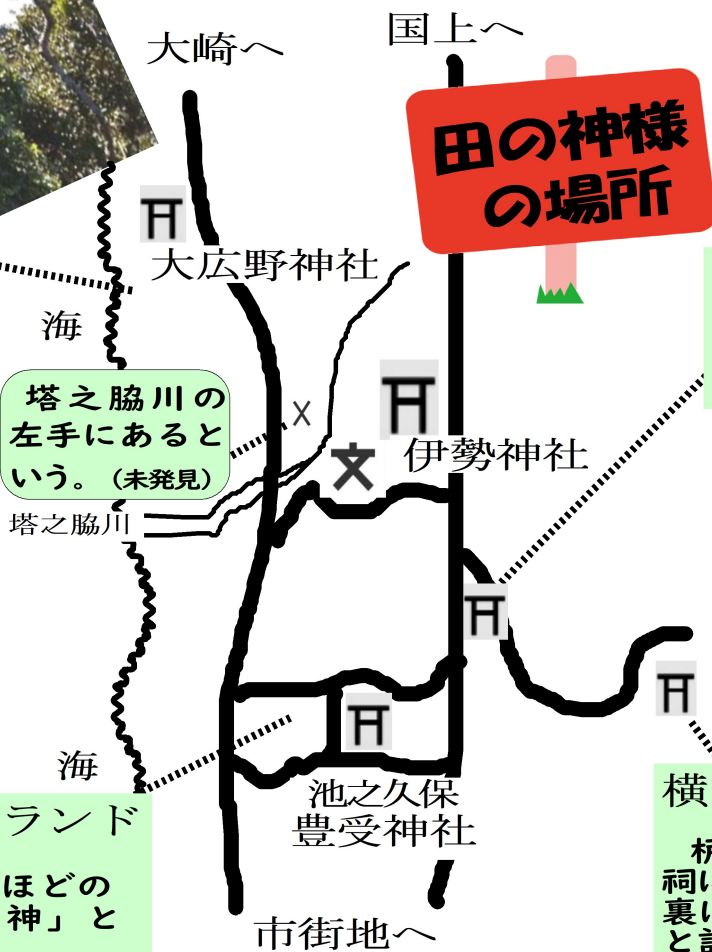
## 上西校区図



大広野神社下の海岸  
火立の峯を正面に  
のぞむ場所で青田祭



池之久保グランド  
高さ1.5mほどの  
石碑には「田神」と  
書かれている。



栢之峯神社境内  
祠の中に祀られて  
いる田の神様



横山神社境内  
栢之峯と同じく  
祠に祀られている。  
裏に文久二年(1862)  
と記されている。

塩屋神社を祀る大崎に田の神ではなく山の神信仰があるのは、塩焚きには薪が必要であり、山の安全を祈るためであろうとされています。

縄文末期から始まる稲作は日本人にとって食の要であり、収穫量はその年の生活を左右します。夏から秋にかけて襲来する台風は厄介な訪問者です。また、日照りも困ります。

大広野では植えた苗の成長と稲の豊作を旧暦の五月に祈願する青田祭を毎年行いますが、稲作の豊穰を願う田の神信仰と軌を一にしますので、ここで紹介しました。

池之久保の田の神様の石碑は以前は別の場所にありましたが、時代の変化とともに移動しここで人々を見守っています。青田祭と同じく、集落民全員で五月に行事を行います。

栢之峯と横山の田の神様は祠の中に安置されています。今は祭事は行われていません。加工しやすい山川石の祠の屋根部に、製作者による芸術性の高さがうかがえます。

花里の田の神様はどこにあるのか現在調査中です。どなたからのご一報を待っています。